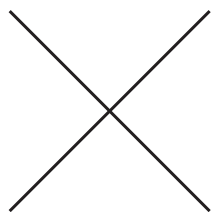


豆つぶ除草剤の散布方法

豆つぶ®

 クミアイ化学工業株式会社



AC101

 NTT e-Drone Technology



ドローン
LOVES
豆つぶ

本マニュアルについて

本マニュアルは室内試験における結果を基に作成しているため、あくまで参考としてお読み下さい。散布前に必ず機械を用いて吐出量を確認し、散布量を調整して下さい。

省力拡散型粒剤の豆つぶ剤(粒径5mm)は、通常の1キロ粒剤とは形状が異なります。

NTT e-Drone Technology社のAC101では、次ページ以降に示した散布方法で、クミカの豆つぶ剤を簡単に散布することができます。

散布終了時には、ユーザーガイドに従い機体、散布装置の清掃を行ってください。

AC101の特長

軽量

機体重量 約5.8kg
(バッテリー・タンク含む)

バッテリー 約4.6kg

機体もバッテリーも持ちやすい新設計！

コンパクト

既存モデルから45%も小型化

軽トラ積載イメージ
荷台 2020×1410mmの場合

5リッター機並み！

アームを開いたままいろいろ積める！

AC1500 → AC101

らくらくタンク交換

工具いらすのワンタッチタンク交換！

低燃費

1バッテリーで最大2.5ha 散布可能 ※15km/hでの散布飛行時

散布方法による散布面積例(イメージ)

①まとめて散布(8L搭載)
1ha(8L) × 2 = 2ha

②ちよい撒き散布(4L搭載)
50a(4L) × 5 = 2.5ha

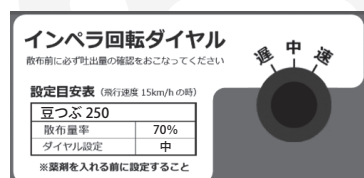
安心の散布性能

液剤散布と同じ感覚で圃場の際までムラなく散布！

パラメータ設定

インペラ回転ダイヤル

中



※実際の表記とは異なります。

高度 (レンジファインダ)

2.0 m

散布量率

70 %

飛行速度

15 km/時間
[4.2 m/秒]

散布幅

5 m

パラメータ ▼

高度 (レンジファインダ) (m)
2.0

散布量率 (%)
70

飛行速度 (m/s)
4.2

飛行時間 (hms) 総飛行時間 (hms)
00:00:00 00:00:00

飛行開始日時 認定番号
000000000000

開始緯度 機体登録番号
0 0

開始経度 散布アシスト
0 OFF



製品別 吐出量・時間

パラメータ設定

インペラ回転ダイヤル	中
高度(レンジファインダ)	2.0 m
散布量率	70 %
飛行速度	15 km/時間
散布幅	5 m

除草剤 初・中期一発剤

製品名	吐出量 (g/分)	吐出時間			
		10a分 (250g)	30a分 (750g)	50a分 (1.25kg)	1ha分 (2.5kg)
エンペラー豆つぶ250	1089	14秒	41秒	1分09秒	2分18秒
ベッカク豆つぶ250	929	16秒	48秒	1分21秒	2分41秒
プライオリティ豆つぶ250	830	18秒	54秒	1分30秒	3分01秒
トップガンR豆つぶ250※	1042	14秒	43秒	1分12秒	2分24秒
ガンガン豆つぶ250	975	15秒	46秒	1分17秒	2分34秒
ベンケイ豆つぶ250	890	17秒	51秒	1分24秒	2分49秒
ヤブサメ豆つぶ250	1272	12秒	35秒	59秒	1分58秒

※トップガン250グラム、トップガンL 250グラムも同じ設定で散布できます。

除草剤 中・後期剤

製品名	吐出量 (g/分)	吐出時間			
		10a分 (250g)	30a分 (750g)	50a分 (1.25kg)	1ha分 (2.5kg)
アトトリ豆つぶ250	1149	13秒	39秒	1分05秒	2分11秒
ツイゲキ豆つぶ250	976	15秒	46秒	1分17秒	2分34秒

飛行ルート例

パラメータ設定

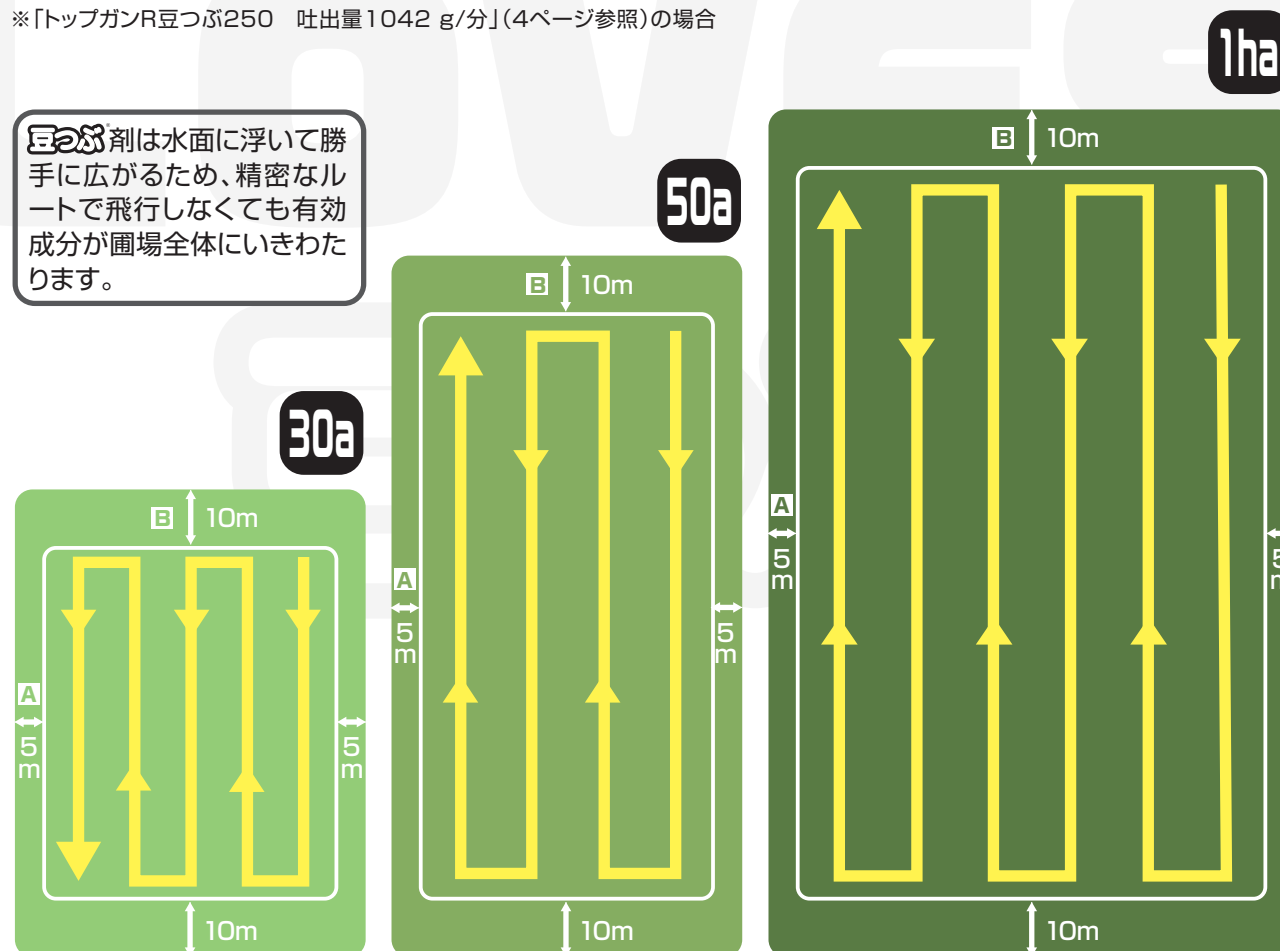
インペラ回転ダイヤル	中
高度(レンジファインダ)	2.0 m
散布量率	70 %
飛行速度	15 km/時間
散布幅	5 m

圃場面積	飛行条件	飛行距離(m)	吐出時間※
30a (60×50m)	約2.5往復	(60-20)×5	約45秒
50a (100×50m)	約2往復	(100-20)×4	約1分20秒
1ha (125×80m)	約3往復	(125-20)×6	約2分30秒

※吐出時間以外に離発着・移動時間が必要

※「トップガンR豆つぶ250 吐出量1042 g/分」(4ページ参照)の場合

豆つぶ剤は水面に浮いて勝手に広がるため、精密なルートで飛行しなくても有効成分が圃場全体にいきわたります。



A 左右は薬剤が飛び出さないように5～10mあけるように飛行してください。

B 手前と奥の枕地部分はドローンと薬剤が飛び出さないように約10mあけるように飛行してください。